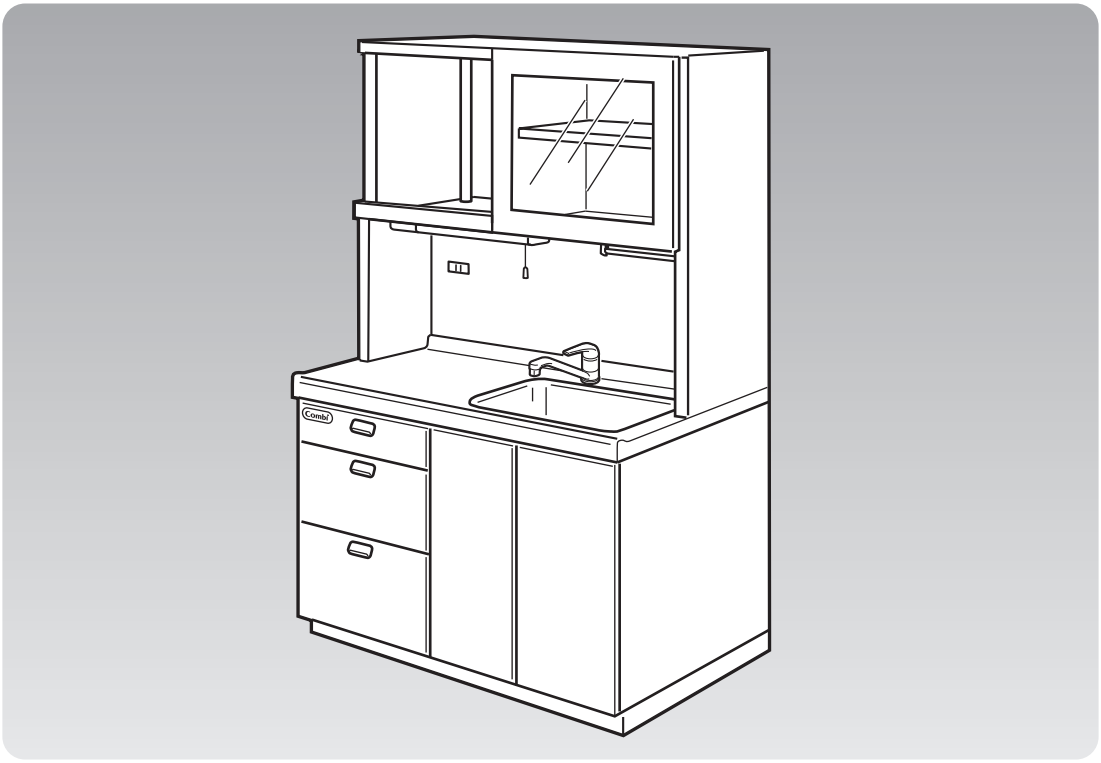
保存版

Combi 調乳ユニットCU22
取扱説明書・点検マニュアル
＜保証書付＞



本書は **Combi** 調乳ユニットCU22を安全に、また快適にご利用いただくために必要な内容が記載されています。ご使用前によくお読みの上、正しくご使用・点検ください。また本書は大切に保管してください。

コンビウィズ株式会社

目 次

■ 取扱説明書

1 製品の用途……2
2 安全にお使いいただくために……2
3 施設のかたへのお願い……2
日常のお手入れ方法……3
4 製品仕様……4
5 各部のなまえ……4
6 ご使用方法……5
7 寒冷地用の水抜き方法……6
8 引き出しの抜け止めストッパー位置確認……6
9 キャビネット扉の開けかた……6

■ 点検マニュアル

必要工具……7
点検日の記入……7
1 日常点検……8
日常点検手順……9
日常点検チェックシート……11
2 定期点検……12
定期点検手順……12
定期点検チェックシート……13

■ 交換手順書

専用台扉の交換手順……14
扉の取り付けと取りはずし方法……14
扉の調節方法……14
ステッカー交換手順……15
吐水口一式交換手順……16

■ 保証書……17

Combi 調乳ユニットCU22
取扱説明書

1 製品の用途

●**Combi** 調乳ユニットCU22（以下本製品）は施設内で調乳をするための調乳ユニットです。

2 安全にお使いいただくために

●ここに示した注意事項は、取り扱いを誤るとお子さまや操作しているかたへ危害や物的損害の発生が予想される事項を、危害・損害の大きさ、切迫度により「警告」「注意」に区分し表示しています。ご使用前によくお読みの上、安全のために必ずお守りください。

⚠警 告	この表示を無視し誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
⚠注 意	この表示を無視し誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害が起こる可能性がある内容を示しています。

3 施設のかたへのお願い

⚠警 告	●製品を改造しないでください。 思わぬ事故につながるおそれがあります。
	●製品を安全に使用していただくために、日常点検と定期点検をお願いします。 点検を怠った場合、製品の老朽化や破損が発見されず、ケガや重大事故の原因になります。
	●故障した製品は、放置しないでください。 誤って使用したり、お子さまが遊んだりすると、**ケガや重大事故の原因になります。**
	●**目的以外の用途でのご使用はおやめください。** お子さまが遊んだり、もぐったりすると、**おぼれたりケガをするおそれがあります。**

点検方法は、本書7ページの「点検マニュアル」をご確認ください。

⚠警 告

●電子レンジ収納スペースで、オーブンやコンロなど、直火や温度が高くなるものを使用しないでください。
（高熱により、火災の原因になります。）
●電子レンジ使用中は、電子レンジのそばを離れないでください。
（乳幼児がヤケドをしたり、思わぬ事故につながります。）
●乳幼児にいたずらをさせないでください。
（思わぬ事故につながります。）
●電子レンジ用のコンセント、および電子レンジ用の電源コードは、必ずアースを配線してください。
（故障や漏電のときに感電するおそれがあります）
●電源コードのタコ足配線をしないでください。
●定格容量以上の電気製品を接続しないでください。
●電子レンジはメーカーの設置基準にしたがって設置してください。
●コンセント部に水がかからないように注意してください。
（ショートしたり、手で触れると感電することがあります。）
●長期間電源を使用しないときにはプラグを抜いてください。

⚠注 意

●コンセントは２ヵ所ありますが、電子レンジ用はアース付100V15A定格のコンセントに、もう１本は別配線された100V15A定格のコンセントへ別々に接続してください。
（１カ所のコンセントに２本接続すると、ブレーカーが落ちるか、コンセントが異常に加熱することがあります。）
●濡れた手で電気製品を操作したり、コンセントやプラグに触れないでください。
（感電することがあります。）
●コンセントや差込プラグ、コードが熱くなっているときには、速やかに使用を中止してください。
（そのまま使用すると焦げや発火の原因になることがあります。）
●調乳、離乳食のあたため以外の目的で使用しないでください。
（調理台として使用すると傷付くことがあります。）
●大人が踏台の代わりに乗ったりしないでください。
（本体が破損します。）
●この扉の丁番の開き角度は100度までとなっています。それ以上開きますと、座金を締め付けているビスが抜けて脱落するおそれがありますので、十分ご注意ください。

日常のお手入れ方法

⚠注 意

●キャビネット、カウンタートップ部は中性洗剤以外の洗剤を使用することはおやめください。
（プラスチックが劣化し、ひび割れなど破損することがあります。）
●キャビネット、カウンタートップ部はみがき粉や金属たわしなどの使用はおやめください。
（表面が傷付きます。）

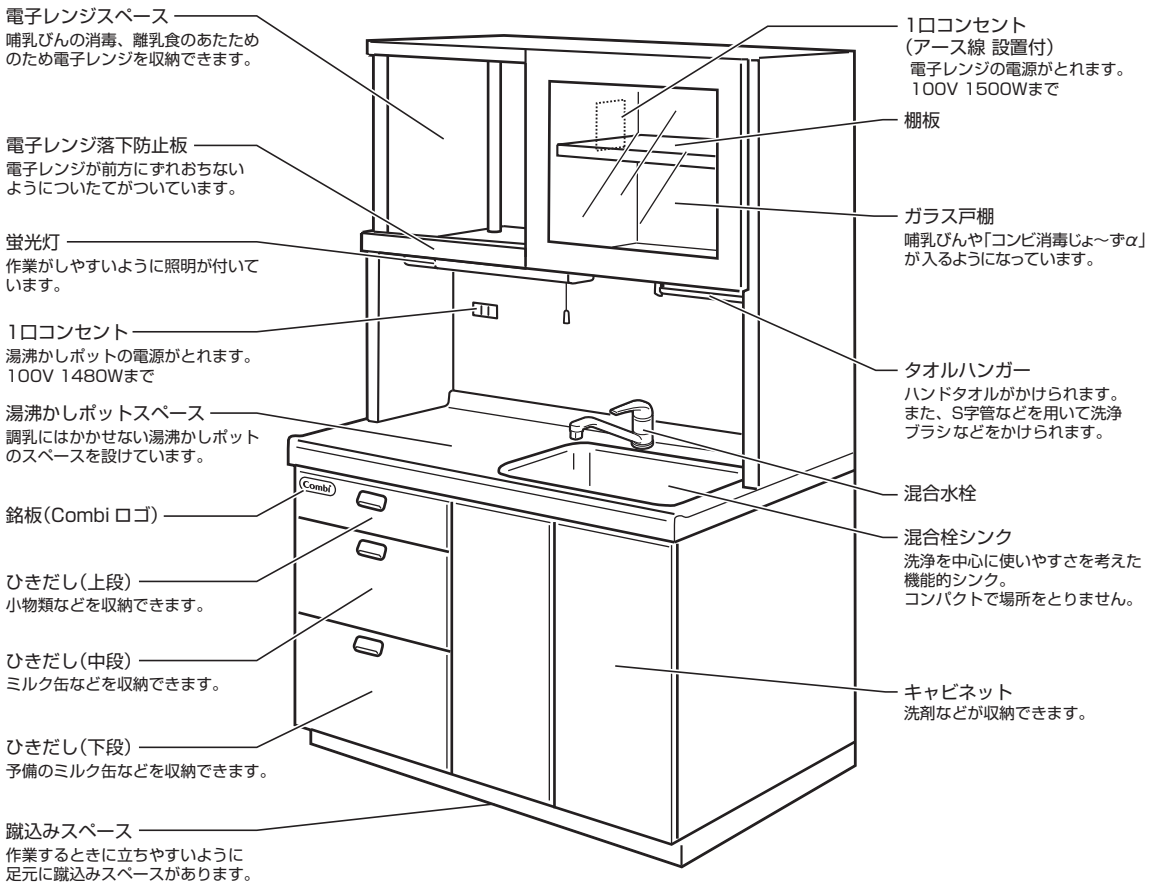
●清掃する場合は中性洗剤を薄めたものでふいたあと、さらに水ぶき、乾ぶきで洗剤分、水分の残らないようにふきあげてください。

4 製品仕様

品　番	CU22	製品名	**Combi** 調乳ユニットCU22
製品寸法	W1200×D725×H1800mm	質　量	93kg
材　質	■カウンタートップ：化粧合板(高圧メラミン) ■キャビネット：化粧合板(ポリエステル、高圧メラミン) ■扉：化粧合板(高圧メラミン)	耐用年数	10年(機構部品は7年間) ※耐用年数を経過しましたら、お取り替えをお願いいたします。
		色	ライトベージュ

※ 製品の仕様は改良などのため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
※ 当社は環境ISO14001に基づいた環境配慮を行っております。製品を廃棄される場合は、廃棄処理法に基づき適正な廃棄をお願いいたします。

5 各部のなまえ



次の部品があることを確認してください。

■付属部品

- ●取扱説明書・点検マニュアル(本書1部)
- ●施工説明書(1部)
- ●施工業者様への手引き(1部)
- ●照明用 取扱説明書 安全チェックシート
- ●混合水栓の施工説明書/6角レンチ入り(1部)
- ●キャビネット転倒防止用L型金具(2個)
- ●タッピング皿ネジφ3.1×16/L型金具用(4本)
- ●コースレットスクリュウ φ3.8×32(9本)
- ●棚ダボ(4個)
- ●電子レンジ転倒防止用L型金具(1個)
- ●タッピング皿ネジφ3.5×25/電子レンジ転倒防止L型金具用(4本)
- ●断熱チューブ(1個)
- ●シリコーンバスボンド(1個)
- ●逆止弁(2個)

6 ご使用方法

⚠警告

●電子レンジ使用中は電子レンジのそばから離れないでください。
（乳幼児がヤケドをしたり、思わぬ事故につながります。）

⚠注意

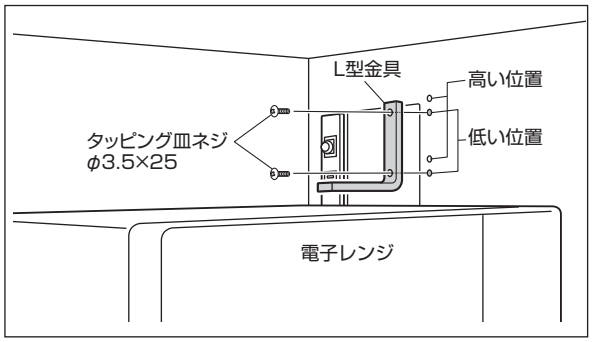
●電子レンジ収納の際は、電子レンジの取扱説明書の設置基準に従った上、できるだけ手前側に設置してください。
●ポットなどをシンク天板に設置する場合は、市販のすべり止め材などをご使用頂き、転倒や落下を防止ください。

使用する電気製品について

●電子レンジ
幅500mm以下、高さ290mm以下、奥行き400mm以下で、かつメーカーの設置基準で、上、後、左右（当キャビネットは左側開口）の壁面までの距離がメーカーの指定どおりであれば設置可能です。上記の条件を満たさない場合レンジ固定金具の取付穴高さがあわない場合がありますのでご注意ください。
●湯沸かしポット
高さ350mm以下の湯沸かしポットをご使用ください。

電子レンジ転倒防止L型金具の取り付けについて

ご使用になる電子レンジの高さに合わせ、L型金具をタッピング皿ネジΦ3.5×25にて固定します。
取り付けの高さ位置は二段階です。
右図をご参照ください。
設置対象機種以外では付属のレンジ転倒防止L型金具が使用できない場合があります。



使いかた

1 洗浄する
●ステンレスシンクで哺乳びんや乳首を洗います。

2 消毒・除菌する
● 煮沸消毒や薬液消毒・除菌で行う方法もありますが、「コンビ除菌じょ～ずα」を使えば、哺乳びんなどを電子レンジで５分かけるだけで除菌できます。

3 調乳する
●湯沸かしポットで調乳します。

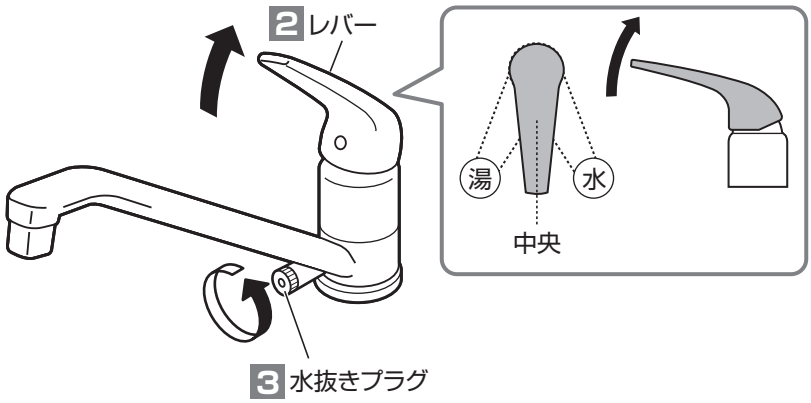
4 保管する
●乾燥した哺乳びんや粉ミルクを戸棚に保管します。

5 その他
●離乳食のあたためも電子レンジで簡単にできます。

7 寒冷地用の水抜き方法

凍結のおそれがある場合には、寒冷地用部品（別売）をご用意のうえ、下記の方法で水抜きをしてください。

1 配管の水抜栓を操作する。
2 レバーを中央位置（湯側・水側の中間）で上げる。
3 水抜きプラグをゆるめ、水を抜く。

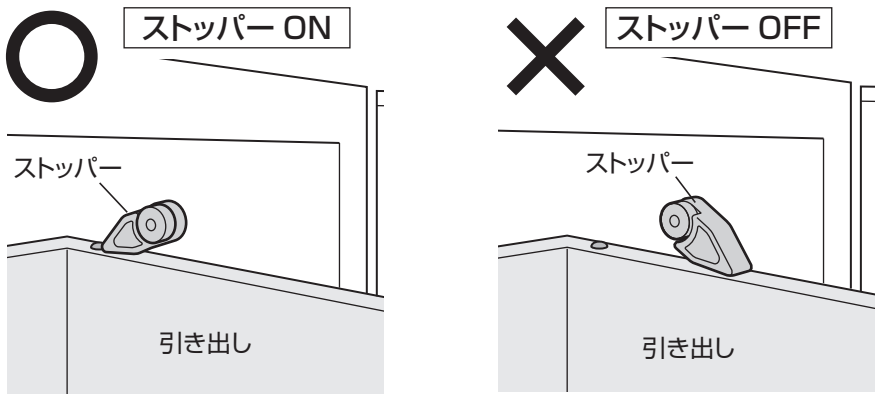


再使用時
水抜きプラグがよく閉まっているか、確認してから、通水してください。

※詳しくは付属の混合水栓用『施行・取扱説明書』をご覧ください。
※寒冷地用水栓部品のお求めは、代理店またはコンビウィズ（株）にお問い合わせください。

8 引き出しの抜け止めストッパー位置確認

引き出し内部のストッパーが下図に示す位置（ストッパー ON）になっているか確認してから、引き出しをご使用ください。



ストッパー OFFの状態で、引き出しを取りはずすことができます。

9 キャビネット扉の開けかた

キャビネット扉を開けるときは、扉の下端を持って開けてください。

Combi 調乳ユニットCU22 点検マニュアル

『**Combi** 調乳ユニットCU22』を快適に、また安全にご利用いただくために必要な「日常点検」「定期点検」の内容を記載したマニュアルです。
本書の内容に従い、毎日もしくは週ごとの「日常点検」と１年ごとの「定期点検」を必ず正しく実施してください。

警告 製品を安全に使用していただくために、日常点検と１年ごとの定期点検をお願いします。点検を怠った場合、製品の老朽化や破損が発見されず、ケガや重大事故の原因になります。

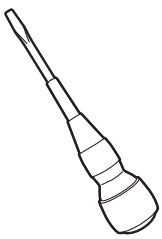
日常点検 日常点検は目視・触感で行います。 **毎日または週ごと**

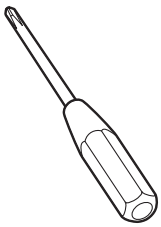
１年定期点検 工具を使用して１年に１回を目安に定期的に点検を行います。 **１年１回**

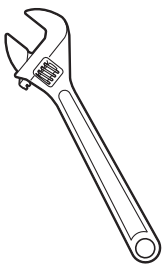
点検の結果、部品交換が必要な場合があります。　※補修部品の保管期間は生産終了後５年間です。

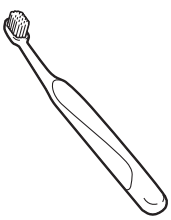
必要工具

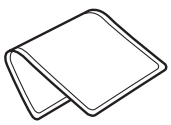
警告 指定以外の部品・工具は使用しないでください。


マイナス
ドライバー


プラス
ドライバー
（ビットNo.2）


モンキーレンチ


ナイロン毛ぶらし
（歯ブラシなど）


やわらかい布
（フキンなど）

点検日の記入

定期点検後、本書記載のチェックシートとキャビネット内側左側面に貼付の『点検ステッカー』に点検日をご記入ください。
また、点検ステッカー追加のご注文は、弊社サービスセンターにて承ります。（有償）

製品を安全にご使用いただくために日常点検と1年ごとの定期点検をお願いします。

販売元
コンビウィズ株式会社
サービスセンター
TEL：03-5806-4621
（受付時間）
祝祭日を除く月～金
10：00～17：00

338456090　0706(1)

点検年月日	点検者
年　月　日	
年　月　日	
年　月　日	
年　月　日	
年　月　日	
年　月　日	
年　月　日	

1 日常点検

点検項目	点検方法	判断基準	不良の処置
① 流水性の確認	動作・目視	水・お湯がスムーズに流れること	修理
② 吐水口の動作確認	動作	吐水口の回転がスムーズであること	修理
③ 湯温の確認	動作	設定温度の湯が出ていること	修理
④ 銘板、ネジ類のつぶれ、変形	目視	十字穴などのつぶれ、ネジの変形、錆の発生のないこと	銘板ネジ類：交換
⑤ 本体各部（キャビネットなど）に破損、割れの確認	目視・触感	ひび割れ、爪の引っかかりがないこと	修理・交換
⑥ 扉のゆるみやぐらつきがなく、開閉がスムーズであること	動作	手で動かし、ぐらつきの有無の確認、開閉具合、閉まり具合の確認	修理
⑦ 引き出しのぐらつきがなく、開閉がスムーズであること 引き出しのストッパーが効いていること	動作	手で動かし、ぐらつきの有無の確認、開閉具合、閉まり具合、ストッパーの効果の確認	修理
⑧ 跳ね上げ扉のゆるみやぐらつきがなく、開閉がスムーズであること 上に上げたとき、止まること	動作	手で動かし、ぐらつきの有無の確認、開閉具合、閉まり具合の確認	修理
⑨ 蛍光灯の動作確認	動作	蛍光灯が正常に点灯すること	蛍光灯交換
⑩ ステッカーのはがれなど	目視	はがれ、汚れなどないこと	交換
⑪ 配管の破損および水漏れの確認	目視・触感	割れ、破損、水漏れのないこと	修理・交換

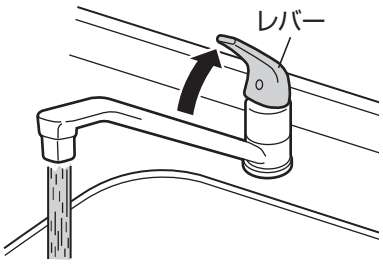
1 日常点検手順

1 流水性の確認（日常点検項目①）

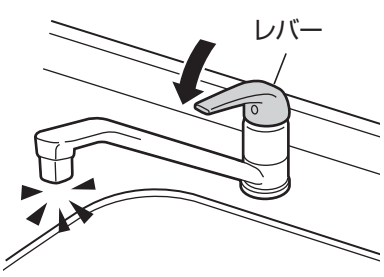
水、お湯がスムーズに流れること

●レバーを上げ下げし、吐水、止水がスムーズに行われるか確認を行う。

吐水



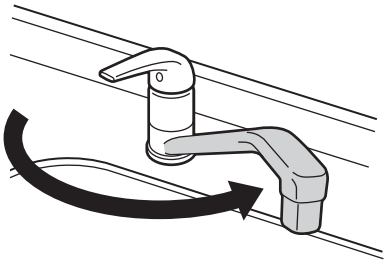
止水

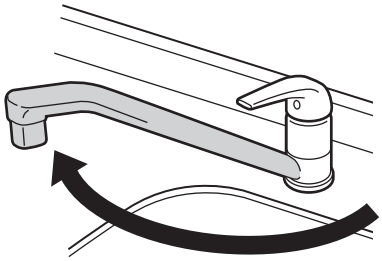


2 吐水口の動作確認（日常点検項目②）

吐水口の回転がスムーズであること

●吐水口を左右に回し、回転がスムーズであるか確認を行う。





3 湯温の確認（日常点検項目③）

●レバーを回し、温度調整が行われるか確認を行う。

レバーを右に回す→水

レバーを左に回す→温度が上がる

4 銘板のネジ類のつぶれ、変形の確認（日常点検項目④）

十字穴などのつぶれ、ネジの変形、錆の発生のないこと

5 本体各部（キャビネットなど）に破損、割れのなきこと（日常点検項目⑤）

ひび割れ、爪の引っかかりがないこと

6 扉のゆるみやぐらつきがなく、開閉がスムーズであること（日常点検項目⑥）

手で動かし、ぐらつき有無、開閉具合、閉まり具合の確認

7 **引き出しのぐらつきがなく、開閉がスムーズであること、引き出しのストッパーが効いていること（日常点検項目⑦）**

手で動かし、ぐらつき有無、開閉具合、閉まり具合、ストッパーの効果の確認

8 **跳ね上げ扉のゆるみやぐらつきがなく、開閉がスムーズであること、上に上げたとき、止まること（日常点検項目⑧）**

手で動かし、ぐらつき有無、開閉具合、閉まり具合の確認

9 **蛍光灯の動作確認（日常点検項目⑨）**

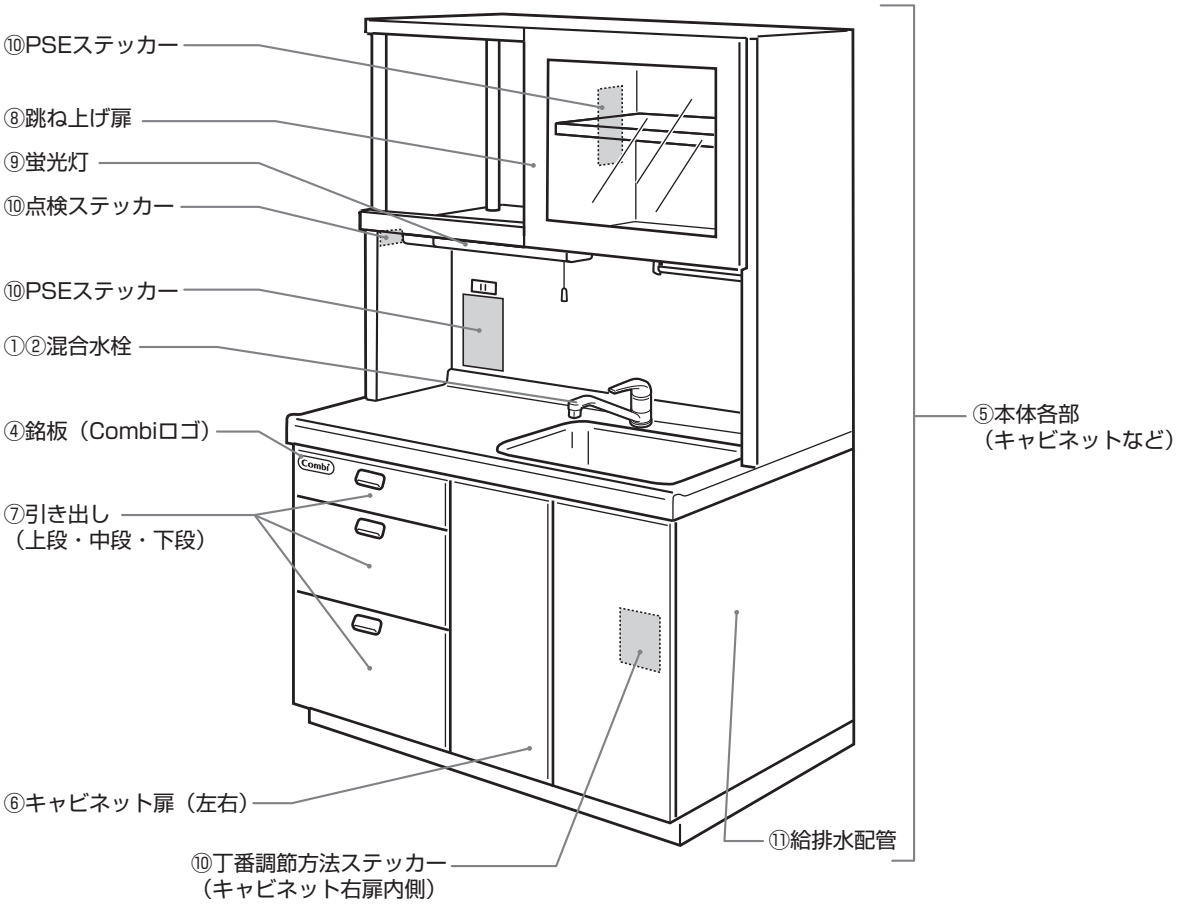
蛍光灯が正常に点灯すること

10 **ステッカーのはがれなど（日常点検項目⑩）**

はがれ、汚れなどないこと

11 **配管の破損および水漏れの確認（日常点検項目⑪）**

割れ、破損、水漏れのないこと



Combi

毎日または週ごと

Combi 調乳ユニットCU22 日常点検チェックシート

このページをコピーして点検にご利用ください。記入した後は大切に保管してください。

点検項目	点検方法 動作・目視・触感	月日 ／ 台	月日 ／ 台	月日 ／ 台	月日 ／ 台	月日 ／ 台	月日 ／ 台	月日 ／ 台
①流水性の確認	動作・目視							
②吐水口の動作確認	動作							
③湯温の確認	動作							
④銘板のネジ類のつぶれ、変形の確認	目視							
⑤本体各部（キャビネットなど）に破損、割れの確認	目視・触感							
⑥扉のゆるみやぐらつきがなく、開閉がスムーズであること	動作							
⑦引き出しのぐらつきがなく、開閉がスムーズであること 引き出しのストッパーが効いていること	動作							
⑧跳ね上げ扉のゆるみやぐらつきがなく、開閉がスムーズであること 上に上げたとき、止まること	動作							
⑨ 蛍光灯の動作確認	動作							
⑩ ステッカーのはがれなど	目視							
⑪ 配管の破損および水漏れの確認	目視・触感							
点検者								
承認者								

点検時に異常を発見したら、ただちに**使用を中止**し、コンビウィズ（株）サービスセンターまでご連絡ください。

特記事項

2 定期点検

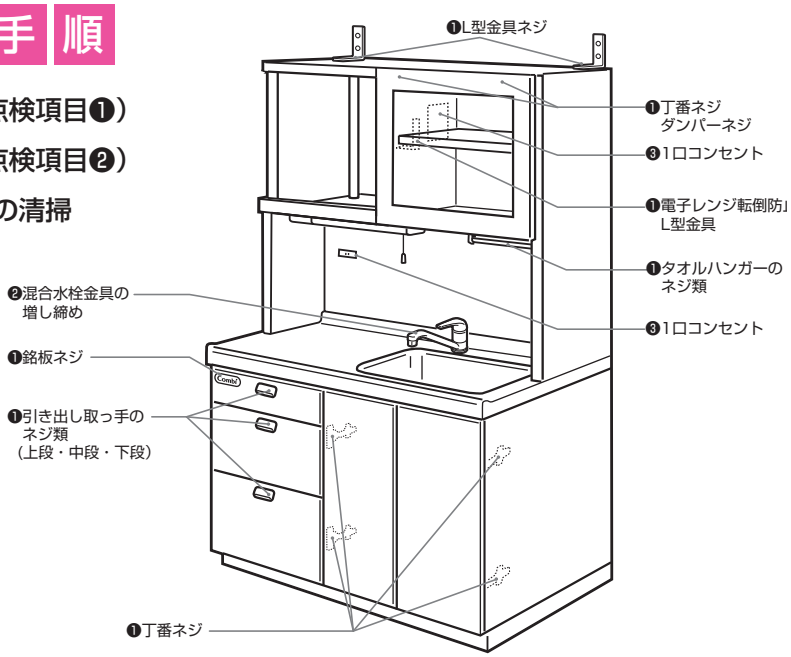
点検項目	点検方法	判断基準	不良の処置
定期点検項目			
❶ ネジ類の増し締め	プラスドライバー	増し締め確認	増し締め処置
❷ 水栓類の増し締め	モンキーレンチ	増し締め確認	増し締め処置
❸ 電源プラグとコンセントの清掃	目視	ほこり、汚れがないこと	清掃
日常点検項目			
① 流水性の確認	動作・目視	水・お湯がスムーズに流れること	修理
② 吐水口の動作確認	動作	吐水口の回転がスムーズであること	修理
③ 湯温の確認	動作	設定温度の湯が出ていること	修理
④ 銘板、ネジ類のつぶれ、変形	目視	十字穴などのつぶれ、ネジの変形、錆の発生のないこと	銘板ネジ類：交換
⑤ 本体各部（キャビネットなど）に破損、割れの確認	目視・触感	ひび割れ、爪の引っかかりがないこと	修理・交換
⑥ 扉のゆるみやぐらつきがなく、開閉がスムーズであること	動作	手で動かし、ぐらつきの有無の確認、開閉具合、閉まり具合の確認	修理
⑦ 引き出しのぐらつきがなく、開閉がスムーズであること 引き出しのストッパーが効いていること	動作	手で動かし、ぐらつきの有無の確認、開閉具合、閉まり具合、ストッパーの効果の確認	修理
⑧ 跳ね上げ扉のゆるみやぐらつきがなく、開閉がスムーズであること 上に上げたとき、止まること	動作	手で動かし、ぐらつきの有無の確認、開閉具合、閉まり具合の確認	修理
⑨ 蛍光灯の動作確認	動作	蛍光灯が正常に点灯すること	蛍光灯交換
⑩ ステッカーのはがれなど	目視	はがれ、汚れなどないこと	交換
⑪ 配管の破損および水漏れの確認	目視・触感	割れ、破損、水漏れのないこと	修理・交換

2 定期点検手順

1 ネジ類の増し締め（定期点検項目❶）

2 水栓類の増し締め（定期点検項目❷）

3 電源プラグとコンセントの清掃（定期点検項目❸）



Combi

1年ごと

Combi 調乳ユニットCU22 定期点検 チェックシート

このページをコピーして点検にご利用ください。記入した後は大切に保管してください。

点検項目	点検方法 動作・目視・触感	年月日 ／／ 台	年月日 ／／ 台	年月日 ／／ 台	年月日 ／／ 台	年月日 ／／ 台
定期点検項目						
❶ネジ類の増し締め	プラスドライバー					
❷水栓類の増し締め	モンキーレンチ					
❸電源プラグとコンセントの清掃	目視					
日常点検項目						
①流水性の確認	動作・目視					
②吐水口の動作確認	動作					
③湯温の確認	動作					
④銘板のネジ類のつぶれ、変形の確認	目視					
⑤本体各部（キャビネットなど）に破損、割れの確認	目視・触感					
⑥扉のゆるみやぐらつきがなく、開閉がスムーズであること	動作					
⑦引き出しのぐらつきがなく、開閉がスムーズであること 引き出しのストッパーが効いていること	動作					
⑧跳ね上げ扉のゆるみやぐらつきがなく、開閉がスムーズであること 上に上げたとき、止まること	動作					
⑨ 蛍光灯の動作確認	動作					
⑩ ステッカーのはがれなど	目視					
⑪ 配管の破損および水漏れの確認	目視・触感					
点検者						
承認者						

点検時に異常を発見したら、ただちに**使用を中止**し、コンビウィズ（株）サービスセンターまでご連絡ください。

特記事項

Combi 調乳ユニットCU22
交換手順書

日常点検や定期点検で異常を発見し、新しい部品と交換する場合は、
この交換手順書をよくお読みの上、正しく交換してください。

専用台扉の交換手順

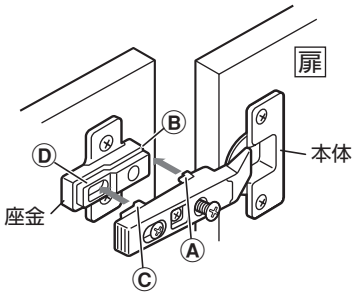
⚠注意

- ●各調節ネジは、必ず手回しドライバーにて、調節ネジの調節範囲内での微調整を行ってください。
- ●エアー・電動・充電ドライバーでの調整は、ネジのかしめ加工部に過大なトルクが加わった場合に、ネジ山の破損（空回りや調節ネジの脱落）により、機能不良となることがありますのでおやめください。

扉の取り付けと取りはずし方法

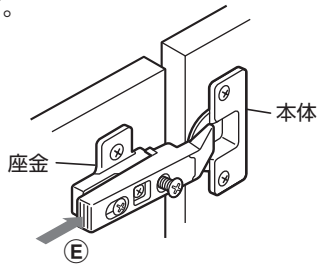
＜取り付け方法＞

Ⓐのツメを Ⓑ部にひっかけ、Ⓒのツメを Ⓓ部にはめる。

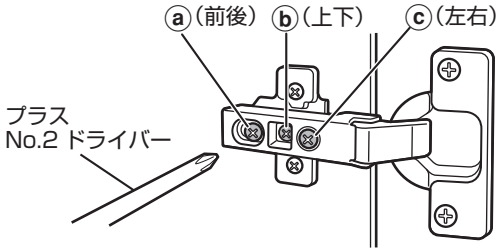


＜取りはずし方法＞

Ⓔ部を押しロック解除し、丁番の本体を座金から取りはずす。

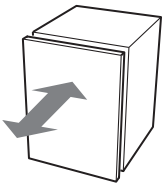


扉の調節方法



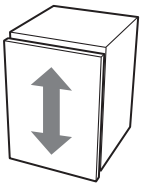
調節可能範囲

- ⓐ 前後調整 ±2mm
- ⓑ 上下調整 ±1.5mm
- ⓒ 左右調整 ±2mm



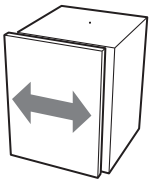
前後調節

ネジ ⓐ をゆるめ、扉を前後に動かし適当な位置を選び、しっかりネジを締めます。



上下調節

ネジ ⓑ をゆるめ、扉を上下に動かし適当な位置を選び、しっかりネジを締めます。



左右調節

ネジ ⓒ を左右に回して行います。適当な位置を選び、しっかりネジを締めます。

＜扉がガタつく場合は＞

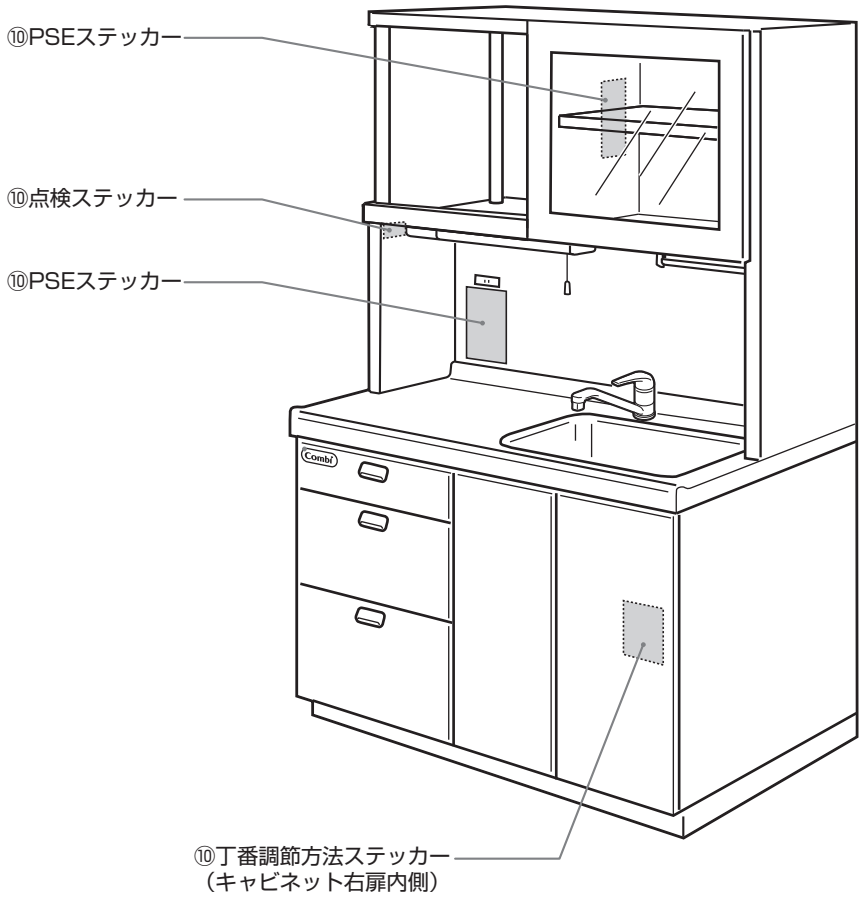
扉を固定する前後調節ネジⓐは緩んでいませんか？
緩んでいる場合は、しっかり締め直してください。

⚠注意

この扉の丁番の開き角度は100度までとなっています。それ以上開きますと、座金を締め付けているビスが抜けて脱落するおそれがありますので、十分ご注意ください。

ステッカー交換手順

ステッカーの表示がかすれて見づらくなったり、はがれたりした場合は交換します。その際は、前と同じ位置に貼るようにしてください。



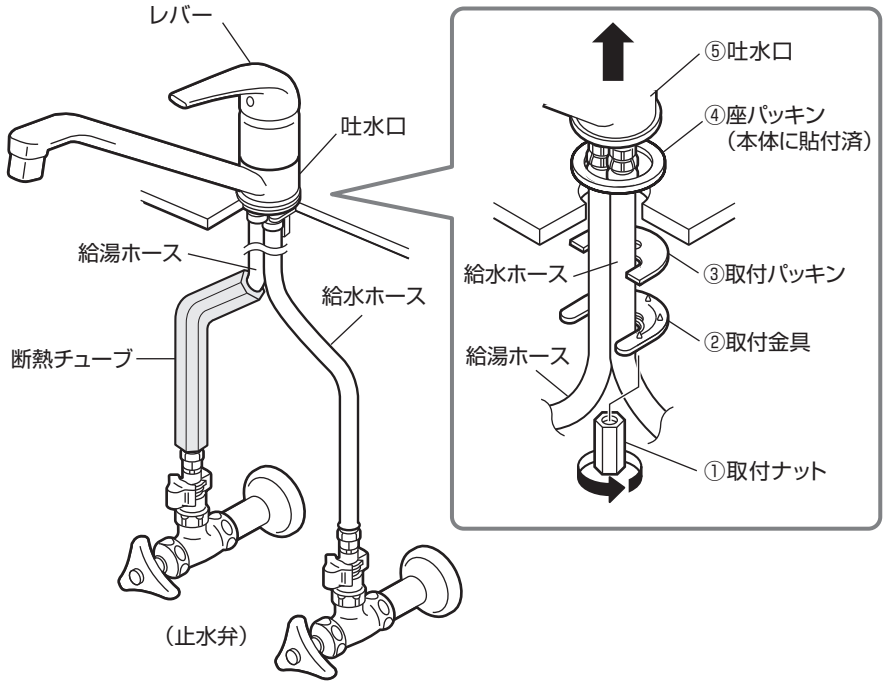
吐水口一式交換手順

吐水口一式の取りはずし方法

1 吐水口一式を本体から次の順序で取りはずす。

止水弁を閉め、給湯ホースの温度が十分下がってから作業してください。

①取付ナットをはずします。
②取付金具をはずします。
③取付パッキンをはずします。
④座パッキンをはずします。
⑤最後に吐水口一式を引き抜き、取りはずします。



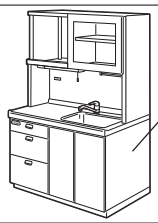
吐水口一式の取り付け方法

1 新しい吐水口一式を、取りはずし方法の逆順序で取り付ける。

①新しい座パッキンを通し、吐水口の下部を沐浴槽本体の穴に通します。
②次に、取付パッキン、取付金具を通し、取付ナットで締め付け、固定します。

保 証 書

製品種類	**Combi** 調乳ユニット CU22
保証期間	お取り付けから 正規のご使用下で1年間



製造番号
（キャビネット右側板内側の
製造番号を参照ください。）

お施主様	お名前 ご住所　〒　　－ TEL.（　　）　　－
ご購入業者	
納 品 日	年　　月　　日

取扱説明書および本体注意書きラベルなどの記載内容に従った正常な使用状態で故障した場合、本書を提示の上、ご購入業者または下記コンビウィズ株式会社にご連絡ください。保証期間内にて無料で修理いたします。

●保障期間中であっても、次の場合は有料修理となります。

①本来の使用用途以外でのご使用に起因する故障。
②適切な維持管理を怠ったことに起因する故障。
③メーカー、販売元が指定する業者以外の修理・調整・改造に起因する破損・故障。
④保管環境の影響など本製品以外の外部影響に起因する破損・故障。
⑤ご購入後の輸送、落下などに起因する破損・故障。
⑥経年劣化、消耗部品の過酷な使用状況による故障。
⑦水質汚濁（赤錆も含む）による目詰まりや給湯不良。
⑧天災 / 天変地異 (火災、落雷、噴火、洪水、津波、地震)、戦争 / 暴動等による不具合。
⑨本書に製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名の記入の無い場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
⑩本書のご提示がない場合。
⑪有料修理の場合に要する発送運賃。

●上記保証は日本国内においてのみ有効です。
●定期点検を実施しなかった場合の不具合は対象外です。
●製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないこともあります。
●この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、当社サービスセンターにお問い合わせください。
●保証書にご記載いただきました個人情報につきましては、個人情報保護法の規定に従い、お客様の故障修理についてのみ利用させていただきます。それ以外の用途には利用いたしません。

※定期点検の結果、不具合発生が認められた場合は、上記範囲内での保証とさせていただきます。

販売元 コンビウィズ株式会社
〒111-0041　東京都台東区元浅草2-6-7
サービスセンター　TEL:03-5806-4621　FAX:03-5828-7630
〔受付時間〕祝祭日を除く月～金　10：00～17：00

memo

Combi

本マニュアルは、コンビウィズ ホームページ（www.combiwith.co.jp）からもダウンロード（PDF）できます。ご活用の程、お願いいたします。

●製品に関するお問い合わせ

販売元 コンビウィズ株式会社

本社 / 東京営業所　〒111-0041　東京都台東区元浅草2-6-7
TEL.03-5828-7631 FAX.03-5828-7630
大阪営業所　〒540-0026　大阪市中央区内本町2-4-16
TEL.06-6942-0384 FAX.06-6942-0398

●修理・点検に関するお問合せ／コンビウィズ㈱ サービスセンター

［受付時間］祝祭日を除く、月～金 10:00 ～ 17:00

TEL.03-5806-4621 FAX.03-5828-7630

○本書に記載されている文章、イラスト等の無断転載を禁止します。

272706100 1507(1)